

# 大阪湾漁場環境速報

平成19年8月8日発行  
兵庫のり研究所

湾南部の調査点を一部欠測しました。

(水温) 表層は湾内23~28 台で、平均24.6 。 平年(26.1)比1.5 、 昨年(26.3)比1.7 それぞれ低い。 -10m層は平均23.3で、平年(24.5)比1.2 低い。

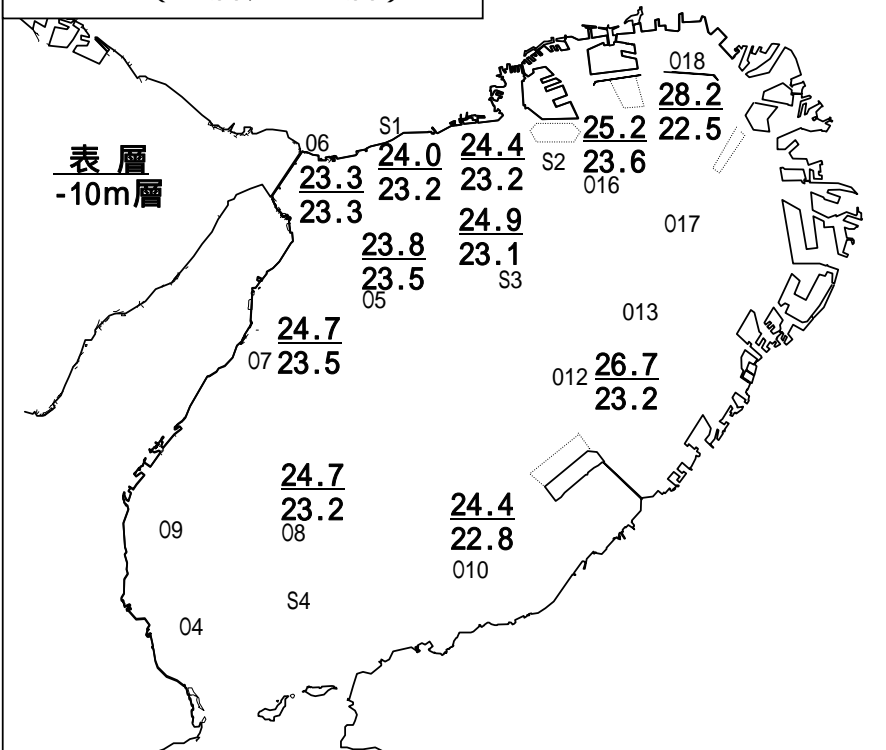
(塩分) 表層平均31.69psu(平年 30.96) 。 -10m層平均32.07psu(平年 31.98)。 表層は、平年より約0.7psu高く、 -10m層はほぼ平年並。

(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均2.0 µg-at/L、リン濃度は平均0.28 µg-at/L。 窒素は平年(4.0)の半分程度、リンはほぼ平年(0.31)並の値を示している。 -10m層(平均)は、窒素5.0 µg-at/L、リン0.45 µg-at/L。 湾奥部ではスケルトネマなどの小型珪藻による赤潮が観察され、海水が著しく変色していた。その他の海域では、リゾソレニアやシュードニッチア、ユーカンピアなど多種の珪藻が認められ、神戸港周辺部で発生量がやや多い状況。また、シャトネラなど有害プランクトンはほとんど認められなかった。透明度は平均5.6m(赤潮域で0.5m)。 pHは表層平均8.27(赤潮域では9.0以上)。

上段(今回値)	平成19年8月7日調査
中段(昨年値)	平成18年8月10日調査
下段(平年値)	

調査地点	水温( )	塩分(psu)	三態窒素(µg-at/L)	リン酸(µg-at/L)
04	25.5	32.19	3.0	0.24
	<b>23.8</b>	<b>32.10</b>	<b>4.2</b>	<b>0.43</b>
05	25.5	31.23	2.4	0.14
	24.9	31.99	4.4	0.32
06	<b>23.3</b>	<b>32.12</b>	<b>4.8</b>	<b>0.47</b>
	25.2	31.18	2.1	0.16
07	25.0	31.49	4.6	0.31
	<b>24.7</b>	<b>32.09</b>	<b>1.5</b>	<b>0.25</b>
08	25.8	31.71	3.0	0.30
	<b>24.7</b>	<b>32.03</b>	<b>0.8</b>	<b>0.19</b>
09	26.1	31.79	3.0	0.30
	25.7	31.89	3.0	0.30
010	<b>24.4</b>	<b>32.11</b>	<b>0.7</b>	<b>0.14</b>
	26.5	31.31	2.5	0.24
012	<b>26.7</b>	<b>30.48</b>	<b>0.6</b>	<b>0.17</b>
	27.2	30.13	3.0	0.23
013	27.6	29.32	6.7	0.45
	<b>25.2</b>	<b>30.75</b>	<b>1.0</b>	<b>0.35</b>
016	27.0	27.70	2.0	0.09
	26.7	28.99	6.4	0.48
017	27.3	27.24	22.7	0.88
	<b>28.2</b>	<b>21.37</b>	<b>42.2</b>	<b>0.55</b>
018	27.6	26.15	2.1	0.22
	27.5	23.87	31.3	1.55
S1	<b>24.0</b>	<b>31.80</b>	<b>2.0</b>	<b>0.21</b>
	26.4	28.55	2.0	0.14
S2	25.9	30.83	4.8	0.35
	<b>24.4</b>	<b>31.20</b>	<b>1.5</b>	<b>0.28</b>
S3	27.0	27.85	1.5	0.07
	26.4	30.25	4.9	0.36
S4	<b>24.9</b>	<b>32.25</b>	<b>3.2</b>	<b>0.33</b>
	26.6	29.76	1.6	0.07
S4	26.4	31.14	3.1	0.26
	25.2	32.38	2.6	0.24

水温(表層、-10m層)



窒素濃度(表層、-10m層)

